

2 学 期 始 業 式 講 話

平成26年8月26日

- 2学期の始業式です
 - ✓ 県内の公立の全日制高校のうち、3期制をとっているのは不破高校を含めて15校
 - ✓ 夏休みが終わって新しい学期が始まるのは気持ちがいいもの
 - ✓ さらに、自然豊かな不破高校では季節の変化を一杯感じることができる

- 2学期には今までにやったことのない何かをやってみよう
 - ✓ 2学期が一番長い学期で、行事がたくさん
 - ✓ 3年生は人生の大きな節目、就職、進学が決まる大切な学期
 - ✓ 文化祭、体育大会、修学旅行、後期生徒会選挙などの行事がある
 - ✓ これらの機会にこれまでの自分とは違う何かに挑戦してほしい

- 夏休み中に普通教室のエアコン工事が終了
 - ✓ 工事の方が、南側の犬走りに落ちていたゴミを、好意で取ってくださった
 - ✓ 昨日の中日新聞夕刊の「紙つぶて」というコラムにジャズ・ボーカリストの鈴木重子さんがこんなことを書いていた
 - 電車の中で自分の荷物を置いたまま席を離れたお客さんがいた
 - そのお客さんが戻らないうちに電車は出発、乗り遅れたのではないかと心配した
 - この思いは誰にでもあるもの。心配なので、車掌さんに尋ねる
 - このお客さんは別の車両に乗っていると聞き、ほっとする
 - ✓ 誰もが、良心や他を思いやる気持ちを持っている
 - ✓ こんな状況でこの人を心配しない人なんていないはず
 - ✓ でも、そのあと行動できるかどうか、これが大切
 - ✓ 勇気をもって、自分の良心、気持ちに正直に行動してほしい

- 最後に
 - ✓ 1学期の終業式にお願いした通り、夏休み中に不破高校のみなが大きな事件や事故に会わず今日をむかえられたことを喜ぶたい

- ☆ 始業式のあと、美術部の生徒の西濃高美展での優秀賞、吹奏楽部の県大会での銀賞受賞、「小さな親切運動実行章」の伝達表彰を行った
- ☆ また、その後、川瀬進路指導部長が8点差を逆転した大垣日大高校野球部の話をし、あきらめずに頑張る素晴らしさ、そして、曾根生徒指導部長は始業式当日の朝のあいさつ運動の際、昇降口近くで見かけた生まれたばかりのカメたちの話をし、命の大切さを語った
- ☆ 生徒のみなは終始、顔をあげ、話を聞いていた
- ☆ こうして、始業式等はたいへんしっとりした雰囲気の中で終わり、その後、生徒のみなは、エアコンのかかっている教室で課題テストに取り組んだ